

分野①伝統行事・文化

かちべがんりき  
勝部岩力おどり保存会（勝部岩力おどり）

<概要>

住所 鳥取市青谷町紙屋  
勝部地区公民館  
代表者 見生 美則  
構成員 15名(男性：3名、女性12名)

(参考)

勝部地区の概要（平成22年国勢調査）

- ・人口 662人
- ・世帯数 222戸
- ・高齢化率 37%

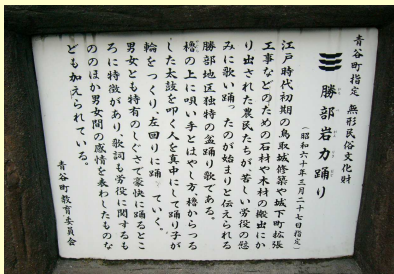
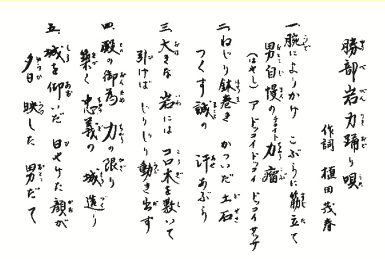


<取組の概要>

- ・勝部岩力おどりの保存継承。
- ・毎月の練習。地区の盆踊り、運動会、文化祭、青谷ようこそ祭りでの公演活動。
- ・青谷町文化協議会（青谷町中央公民館）と連携。

<取材MEMO (1)>

○取組に至る経緯  
・「岩力踊り」は、鳥取藩池田光政が城や町の拡張工事で改修、建設を進めた際、その石材と木材を提供した青谷町勝部地区の農民が切り出した石や木を勝部川を利用して運び出す労役に駆り出され、苦しい労役の慰めに歌い踊ったのが始まりだと言う。  
・昭和49年、地域の診療所（窪田医院）の提唱により、地元の伝統芸能として保存しようということになり、由来や沿革を調査の傍ら、地元での公演等で伝承、保存活動に取り組み、昭和61年、青谷町（鳥取市）から無形文化財の指定を受ける。



分野①伝統行事・文化

勝部岩力おどり保存会

<取材MEMO (2)>

- 取組に工夫・苦労した点
  - ・公演の衣装や移動費などの個人負担が多い。
  - ・「踊り」自体も我流的な要素が多く難しい為、会員が不足している。
  - ・伝統を守り続けることとイベント的な部分の両立が課題。
- 取組の成果
  - ・毎年3～5回の公演を行っている。
  - ・地区の盆踊り、運動会、文化祭、青谷ようこそ祭りでの公演。
  - ・平成6年 大但馬ふれあいステージ公演。
  - ・平成9年 夢みなと博覧会で公演。
  - ・平成21年 日本のまつり2009参加。
  - ・活動をしていて、心のふれあいが実感できる。

<代表者から一言>

- ・青谷勝部のふるさとの民謡として、継承していきたい。
- ・常に観客の立場からも踊る工夫を模索していきたい。



見生 美則 代表

<取材MEMO (3)>

- 今後の取組内容・長期的な目標
  - ・まず、会員(後継者)を増やしたい。
  - ・費用が捻出できれば、積極的に公演も行いたい。



第12回 郷土の民俗芸能大会の様子(上)と集合写真(下)



地区での踊りの様子

取材を行っての感想など一言コメント

- ・無形民俗文化財に指定されていることで、積極的な興行に制約があるらしいです。
- ・取材前、実際に踊りを観賞する機会を得ましたが、一見、ちぐはぐにも思える踊り手の踊りが、かえって面白さを醸し出しています。

市町村役場の連絡先

〒689-0592 鳥取市青谷町青谷667 鳥取市青谷町総合支所 地域振興課  
電話：0857-85-0011 ファクシミリ：0857-85-1049